

令和2年度「廃棄物の適正処理・水処理に係る調査研究助成制度」  
審査結果発表

令和2年6月22日  
大阪湾広域臨海環境整備センター

大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施している大学・研究機関等における若手研究者の調査研究を対象とした助成制度の審査結果は以下の通りです。

なお、事務局は公益財団法人 廃棄物・3R研究財団が務めました。

◆応募状況

令和2年4月10日から令和2年5月8日の募集期間において、6件の応募がありました。

◆審査概要

審査方法： 審査委員による、応募書類の採点評価を基にした審査

審査委員： 廃棄物処理、海域水環境保全に関する学識経験者 3名

◆審査結果

委員による厳正な審査が行われ、その結果6件が令和2年度の助成対象として採択されました。

下表に助成対象調査研究を示します。

表 助成対象調査研究一覧

申請者氏名 (50音順)	所属名	課題名
浅利 美鈴 (あさり みすず)	京都大学大学院地球環境学堂	一般廃棄物処理施設の地域貢献(環境学習)とその運営改善へ向けた調査研究
猪野 陽佳 (いの はるか)	地方独立行政法人山口県産業技術センター 企業支援部	酸化鉄汚泥を用いた硫化水素放出抑制材としての実用化に関する研究開発
押木 守 (おしき まもる)	北海道大学大学院工学研究院環境創成工学部門	埋立処分場浸出水の超高効率かつ安定した窒素除去を実現するテラーメイド型anammoxプロセスの開発
鈴木 祐麻 (すずき たすま)	山口大学大学院 創成科学研究科	陸上残土に含まれる重金属類の長期溶出性に関する科学的知見の提供: 残土に含まれる二酸化チタンの重要性評価 (その3)
田中 周平 (たなか しゅうへい)	京都大学大学院地球環境学堂	廃棄物埋立処分場の排水処理プロセスにおけるMicroplasticsの低減効果と周辺環境への影響調査 (その3)
日高 平 (ひだか たいら)	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻	生ごみと浄化槽汚泥の地域内循環による資源・エネルギー回収手法の開発 (その2)